

1/6

現代世界に貢献する地域研究

グローバルな市民社会とローカルの多様性を支える
次世代地域研究者の育成



上智大学



本事業の位置付け: 2/6

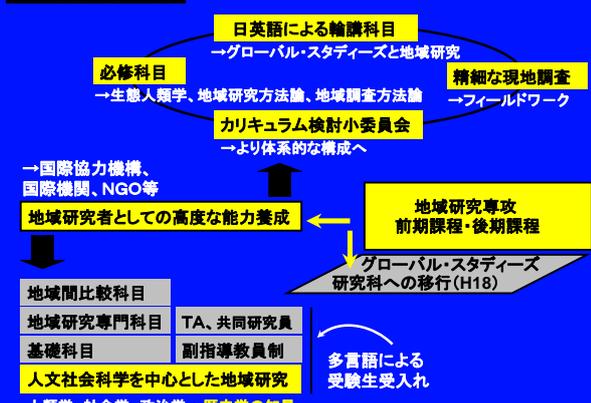
現代世界に貢献する地域研究の実現



研究者、パブリック・インテレクチュアル育成
アジア人材養成研究センター イエズ会Network 56ヶ国
地域研究専攻 前期課程・後期課程
グローバル・スタディーズ 研究科開設
研究支援センター 研究機構 大学院教育の重点支援
共同・客員 研究員等
100周年に向けた機構改革
外国語学部の語学教育と地域研究の伝統、研究所の実績
アジア文化研究所、イペロ・アメリカ研究所、ポルトガル・ブラジル研究センター

交換留学協定18校

教育研究活動の状況: 3/6



日英語による輪講科目
→グローバル・スタディーズと地域研究
必修科目
→生息人類学、地域研究方法論、地域調査方法論
→フィールドワーク
精細な現地調査
カリキュラム検討小委員会
→より体系的な構成へ
→国際協力機構、国際機関、NGO等
地域研究者としての高度な能力養成
地域研究専攻 前期課程・後期課程
グローバル・スタディーズ 研究科への移行(H18)
地域間比較科目
地域研究専門科目 TA、共同研究員
基礎科目 副指導教員制
人文社会科学を中心とした地域研究
人類学、社会学、政治学・歴史学の知見
多言語による 受験生受入れ

今後の改善・充実方策: 4/6

教員・学生受け入れの充実

- 完全公募制の移行へ
- 海外招聘客員教員 (H18: 2名)
- 文科省国費留学生 (H17: 6名)
- アドミッション・オフィス方式の移行へ
- 外国人学生との相互チューター制度 (H18~)
- 専攻ウェブサイトの 日英語化、多言語化へ

学生とフィールドの距離を縮める

- 遠隔地TV会議システムの活用
- 上智大学アジア人材養成研究センターを調査訓練拠点として一層活用

学生支援制度を整備する

- RA等の制度化(H18)

本専攻のあるべき将来像の実現
グローバルな市民社会とローカルの多様性を支える次世代地域研究者の育成
地域研究専攻 前期課程・後期課程

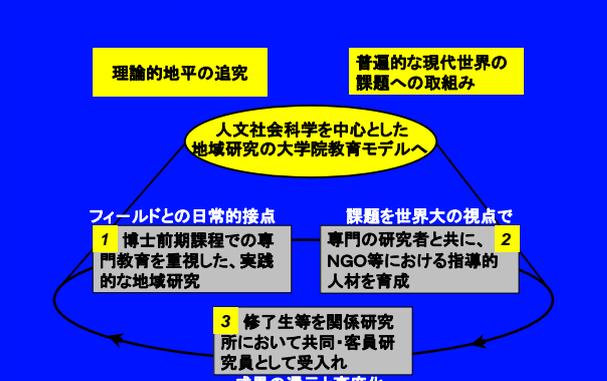
教育プログラムの実効性: 5/6



研究機構、研究支援センター等の活用
RA等の制度化(H18)
遠隔地TV会議システム
よりフィールドに密着した教育研究指導が実現可能

①サン・ジョセフ大学 ②上智大学アジア人材養成研究センター
③国立シンガポール大学 ④アテネオ・デ・マニラ大学
⑤グアダラハラ大学 ⑥サン・パウロ大学

期待される効果: 6/6



理論的地平の追究
普遍的な現代世界の課題への取組み
人文社会科学を中心とした地域研究の大学院教育モデルへ
フィールドとの日常的接点
1 博士前期課程での専門教育を重視した、実践的な地域研究
課題を世界大の視点で
2 専門の研究者と共に、NGO等における指導的人材を育成
3 修了生等を関係研究所において共同・客員研究員として受入れ
成果の還元と高度化